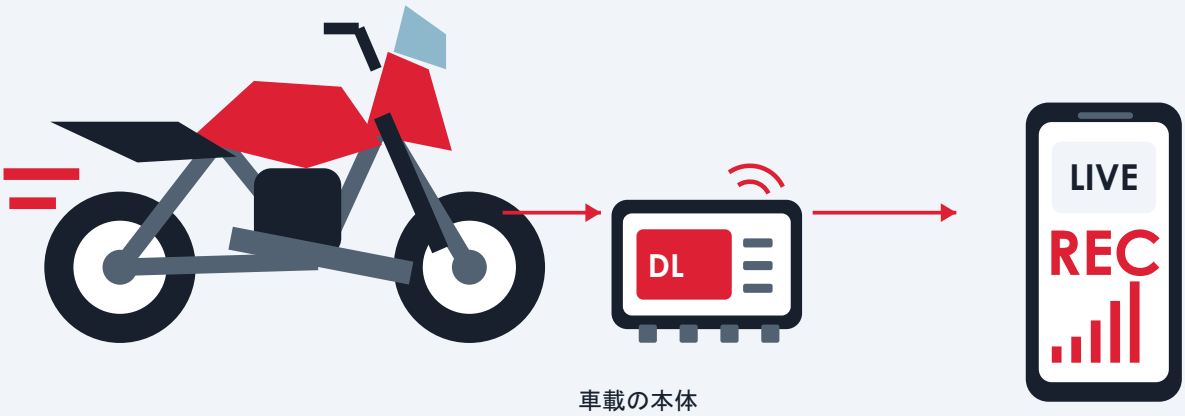
DRAG LOGGER

バイクの走りを、見える情報に。

はじめての方へ：DRAG LOGGERは、バイクの情報を集めて表示・記録するシステムです。

バイクで計る

スマホで見る



車載の本体

速度・回転数・温度など

スマホへ無線で送信

その加速を、記録する。



01　見る

速度やエンジン回転数、
油温などを画面で確認。



02　残す

録画ボタンのようにREC操作。
走行中の数値をSDに保存。



03　比べる

2台のロガーを無線で連携。
スタート・計時・結果を共有。



04　振り返る

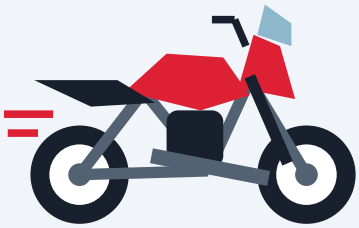
走行データをスマホへ取得。
PCでは映像に重ねて確認。

※接続したセンサーや構成により、使える機能は変わります。

DRAG LOGGER

システムの中では、何が起きる？

赤い矢印をたどると、「情報を集める → 本体で処理 → 表示・保存」の流れが分かります。





バイクの情報をセンサーで取り込む

速度 / エンジン回転数 / 油温

空燃比＝空気と燃料の混ざり具合

GPS＝衛星を使った位置・速度の情報

センター

情報をまとめる本体



計時・スタートシグナルを管理

SDカードに走行データを記録

機器間無線

フロント



車載メーターへ表示

GPS・手元操作を受け渡す

バイク前方の担当ユニット

リア



灯火・ニュートラルなど

車両側の入出力を担当

Bluetoothでつながる

スマホ



画面を見る・設定する

記録を開始／停止する

ログを無線で受け取る

相手のロガー



2台でスタート・計時

VS＝2台の連携機能

覚えるのは、この2つ

BLE（Bluetooth）：本体とスマホの無線通信。

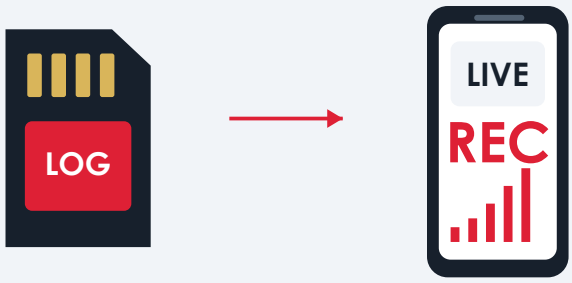
ESP-NOW：本体・フロント・リア・相手ロガー間の無線通信。

※役割を示す模式図です。単体構成もあり、入力の接続先は構成により異なります。

DRAG LOGGER

走り終えたら、こう使う。

スマホへ取り出したデータは、数字だけでなく「走りを振り返る材料」になります。



1　保存 → スマホへ取り出す

RECで残した記録を無線取得。

ログ＝走行中の数値の記録。

CSV＝PCでも扱える表形式データ。

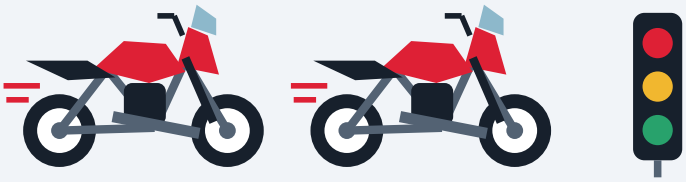


2　映像に重ねて、振り返る

PCで「走行CSV＋撮影した動画」を選択。

映像と計測情報の時刻を合わせて合成。

計測情報入りのMP4動画として保存。



3　2台ならVS

スタートの合図を連携。

それぞれの計時・結果を確認。

対応する相手機と条件が必要。

展示での説明は、このひとことから。

「バイクの走りをスマホで見て、記録して、あとで比べられます。」

確認範囲：机上でREC・SD保存・スマホ取得の実機記録あり。PC動画はテスト映像で確認。
実走時の計測精度・VS同期、実走ログと実車映像の合成は、この資料では保証しません。